

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列 S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列 W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目 L 系列 3 単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列 S も同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列 W は、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている部分については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列 S	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目 L)	英語二列 S	英語一列②
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目 L)
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	英語二列 S
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス	
《英語一列②（教養英語）》	
目標・概要	教養英語は本学教養学部英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』を使用して行う授業である。ターム制で全7回の授業を指定されたクラスで受講する。クラスは学生の習熟度に合わせて3段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。
授業の方法	・教養英語が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。 ・教養英語では習熟度に応じて3つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。 グループ1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それをもとにした発展的な活動を含むこともある。 ・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）についてはITC-LMSの各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。
成績評価方法	・平常点5割、定期試験（統一試験）5割で評価が決定される。 ・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり50点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。 ・各クラスにおける平常点の評価方法については担当教員から説明を受けること。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養英語読本II 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編） 出版社 東京大学出版会 ISBN 【入力可】978-4-13-082133-9
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/
《英語特別クラス》 非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目L系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。	

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語 担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13・24-25）文三（11・17）理一（1・4・9・18-19）理二三（7・13）
				火 4	1 年文一二（6・8・18）文三（5・7・12）理一（20・30-31・34-35）理二三（11・18・22）
				水 2	1 年文一二（5・15・19・26）文三（6・19）理一（7・12・23・28・36）理二三（6・23）
				水 3	1 年文一二（11・16・22）文三（10・14）理一（13・17・25・37・39）理二三（19-20）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.		
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50313	A 1	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50314	A 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50315	A 1	火 3	WASH Ian David	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50316	A 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50317	A 1	火 3	教員未定	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50318	A 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50319	A 1	火 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50326	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50327	A 1	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50328	A 1	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
60094	A 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60095	A 2	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60096	A 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60097	A 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60098	A 2	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60099	A 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60100	A 2	火 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60101	A 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60102	A 2	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60103	A 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60104	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60105	A 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60106	A 2	火 3	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	WASH Ian David	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60108	A 2	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
50373	A 1	火 4	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50374	A 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)

外国語（英語二列 S）

50375	A 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50376	A 1	火 4	SENNA MANUEL	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50377	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50378	A 1	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50379	A 1	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50380	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50381	A 1	火 4	教員未定	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50382	A 1	火 4	WASH Ian David	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50384	A 1	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50387	A 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一ニ(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
60118	A 2	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60119	A 2	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60120	A 2	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60121	A 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60122	A 2	火 4	教員未定	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60123	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60127	A 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60128	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	SENNA MANUEL	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	WASH Ian David	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60131	A 2	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60132	A 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一ニ(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
50474	A 1	水 2	ジェームズ エリンガー	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50475	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50476	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50477	A 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50478	A 1	水 2	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50479	A 1	水 2	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50480	A 1	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50481	A 1	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50482	A 1	水 2	ナオミ パーマン	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50483	A 1	水 2	教員未定	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50484	A 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50485	A 1	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50486	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50487	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50488	A 1	水 2	マニナン ジョン	1 年 文一ニ(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50489	A 1	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
60141	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60142	A 2	水 2	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60143	A 2	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60144	A 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60145	A 2	水 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60146	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60147	A 2	水 2	教員未定	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60148	A 2	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60149	A 2	水 2	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60150	A 2	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60151	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	マニナン ジョン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60155	A 2	水 2	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60156	A 2	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
50570	A 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50571	A 1	水 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50572	A 1	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50573	A 1	水 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50574	A 1	水 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50575	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50576	A 1	水 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50577	A 1	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50578	A 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50579	A 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50580	A 1	水 3	教員未定	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50581	A 1	水 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50582	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50583	A 1	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50584	A 1	水 3	モレノ ベナランダ ラケル	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60173	A 2	水 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60174	A 2	水 3	教員未定	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	A 2	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60176	A 2	水 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	A 2	水 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60178	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60179	A 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60180	A 2	水 3	モレノ ベナランダ ラケル	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60181	A 2	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60182	A 2	水 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60183	A 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 S）

60184	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60185	A 2	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60186	A 2	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60187	A 2	水 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)			開講区分	A
授業の目標・概要		This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.		
授業の方法		Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
成績評価方法		Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.		
関連ホームページ		https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50028	月 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50029	月 2	教員未定	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50030	月 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50031	月 2	SENNA MANUEL	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50032	月 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50033	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50034	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50035	月 2	WASH Ian David	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50036	月 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50037	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50038	月 2	船田 なつの	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50704	木 2	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50705	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50706	木 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50707	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50708	木 2	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50709	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50710	木 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50711	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50712	木 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50713	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50759	木 3	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50760	木 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50761	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50762	木 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50763	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	

50764	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50765	木 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50766	木 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50767	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50878	金 1	教員未定	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50879	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50880	金 1	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50881	金 1	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50882	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50883	金 1	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50884	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50885	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50886	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50887	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50888	金 1	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50976	金 3	教員未定	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50977	金 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50978	金 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50979	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50980	金 3	D SOUZA ERIKA MARIE LOUISE	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50981	金 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50982	金 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50983	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50984	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50985	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	A
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision. Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation. Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities. https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/ ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること		
授業の方法			
成績評価方法			
関連ホームページ			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50045	月 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(4,35-36)
50046	月 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(4,35-36)
50047	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(4,35-36)
50048	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(4,35-36)
50049	月 2	マニナン ジョン	1 年 理一(4,35-36)
50050	月 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(4,35-36)
50051	月 2	神島 智子	1 年 理一(4,35-36)
50083	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50084	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50085	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50086	月 3	船田 なつの	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50087	月 3	神島 智子	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50088	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50089	月 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50090	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50093	月 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50094	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50095	月 3	WASH Ian David	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50096	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50097	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50098	月 3	SENNA MANUEL	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50145	月 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50146	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(12,16)理二三(13)

50147	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50148	月 4	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50149	月 4	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50150	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50151	月 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50152	月 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50218	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(21,23)
50219	火 1	ナオミ バーマン	1 年 理二三(21,23)
50220	火 1	船田 なつの	1 年 理二三(21,23)
50221	火 1	AKINDELE Tito	1 年 理二三(21,23)
50222	火 1	SENNA MANUEL	1 年 理二三(21,23)
50450	水 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(1-3,18,27)
50451	水 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 理一(1-3,18,27)
50452	水 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 理一(1-3,18,27)
50453	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(1-3,18,27)
50454	水 1	ナオミ バーマン	1 年 理一(1-3,18,27)
50455	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(1-3,18,27)
50456	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(1-3,18,27)
50730	木 2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50731	木 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50732	木 2	WASH Ian David	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50733	木 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50734	木 2	神島 智子	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50735	木 2	船田 なつの	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50736	木 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50898	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(8,14)
50899	金 1	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(8,14)
50900	金 1	WASH Ian David	1 年 理二三(8,14)
50901	金 1	神島 智子	1 年 理二三(8,14)
50902	金 1	AKINDELE Tito	1 年 理二三(8,14)
50903	金 1	SENNA MANUEL	1 年 理二三(8,14)
51001	金 3	マニナン ジョン	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51002	金 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51003	金 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51004	金 3	SENNA MANUEL	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51005	金 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51006	金 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51007	金 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51042	金 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理二三(4,11,17)
51043	金 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(4,11,17)
51044	金 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理二三(4,11,17)
51045	金 4	マニナン ジョン	1 年 理二三(4,11,17)
51046	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(4,11,17)

51047	金 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理二三(4,11,17)
-------	-----	----------------	------------------

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語		開講区分	A	
授業の目標・概要 一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。 なお、L系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。				
成績評価方法 教科書		平常点および試験によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編		
関連ホームページ		http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50044	月 2	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 文三(15)
50058	月 2	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 理一(29)
50059	月 2	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 理一(32)
50137	月 4	ドイツ語一列②	三宅 晶子	1 年 文一二(22)
50341	火 3	ドイツ語一列②	石田 勇治	1 年 文三(16)
50346	火 3	ドイツ語一列②	針貝 真理子	1 年 理一(31)
50397	火 4	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 文一二(20)
50406	火 4	ドイツ語一列②	久保 哲司	1 年 理一(28)
50410	火 4	ドイツ語一列②	速水 淑子	1 年 理二三(20)
50586	水 3	ドイツ語一列②	森井 裕一	1 年 文一二(21)
50629	水 4	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1 年 理一(30)
50745	木 2	ドイツ語一列②	長木 誠司	1 年 理二三(19)
50806	木 4	ドイツ語一列②	I・カウフマン	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
50831	木 4	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 理二三(17)
51041	金 4	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(33)
51050	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理二三(18)
50637	水 4	ドイツ語特修	森 芳樹	2 年 文科 理科
50649	水 5	ドイツ語特修	一條 麻美子	2 年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語			開講区分	A
授業の目標・概要 文理科生クラス、理理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理理科生には、文科生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。				
成績評価方法 教科書 関連ホームページ 平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50041	月 2	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 文一二(24)
50060	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(37)
50107	月 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
50108	月 3	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理一(39)
50138	月 4	フランス語一列②	佐々木 悠介	1 年 文一二(23)
50399	火 4	フランス語一列②	星埜 守之	1 年 文一二(26)
50620	水 4	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 文三(17)
50718	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文三(18)
50719	木 2	フランス語一列②	伊達 聖伸	1 年 文三(19)
50720	木 2	フランス語一列②	松井 裕美	1 年 文三(20)
50741	木 2	フランス語一列②	三浦 篤	1 年 理一(35)
50742	木 2	フランス語一列②	井口 俊	1 年 理一(36)
50746	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理二三(22)
50775	木 3	フランス語一列②	松村 剛	1 年 文一二(25)
50776	木 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(27)
50777	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文一二(28)
50807	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50832	木 4	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 理二三(23)
51008	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理一(34)
51013	金 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 理二三(21)
51014	金 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理二三(24)
50602	水 3	フランス語特修	森元 庸介	2 年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語			開講区分	A
授業の目標・概要				
中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(木5に開講) ●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。				
成績評価方法				
現時点では学期末試験を行う予定だが、詳細は未定である。状況に応じては別の方法をとることもあるので担当教員の指示に従うこと。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之 著 出版社 白帝社				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50057	月 2	中国語一列②	大橋 義武	1 年 理一(24)
50143	月 4	中国語一列②	瀬地山 角	1 年 文三(14)
50208	火 1	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(3)理二三(3)(TLP)
50216	火 1	中国語一列②	山影 統	1 年 理一(26)
50405	火 4	中国語一列②	石村 広	1 年 理一(27)
50505	水 2	中国語一列②	田原 史起	1 年 文一二(17)(TLP)
50515	水 2	中国語一列②	吉川 雅之	1 年 文三(12)(TLP)
50521	水 2	中国語一列②	張 政遠	1 年 理一(19)
50522	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 理一(22)
50526	水 2	中国語一列②	李 佳リョウ	1 年 理二三(16)
50585	水 3	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 文一二(19)
50590	水 3	中国語一列②	朝倉 友海	1 年 文三(13)
50618	水 4	中国語一列②	韓 燕麗	1 年 文一二(18)
50714	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(14)
50739	木 2	中国語一列②	松本 秀士	1 年 理一(25)
50774	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(16)
50792	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 理二三(15)
50808	木 4	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50811	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(15)
50830	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 理二三(13)
50896	金 1	中国語一列②	王 英輝	1 年 理一(20)
50997	金 3	中国語一列②	谷垣 真理子	1 年 理一(23)
51012	金 3	中国語一列②	毛 興華	1 年 理二三(14)
51022	金 4	中国語一列②	岩月 純一	1 年 文一二(13)
51031	金 4	中国語一列②	石井 剛	1 年 文三(11)
51040	金 4	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(21)
50638	水 4	中国語特修	阿古 智子	2 年 文科 理科

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	A	
授業の目標・概要		初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。		
成績評価方法		定期試験と平常点。		
教科書		適宜小テストを行うことがある。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう) 著者(訳者) 西中村浩・朝妻恵理子 出版社 朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50207	火 1	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)(TLP)
50407	火 4	ロシア語一列②	渡邊 日日	1 年 理二三(4)
50722	木 2	ロシア語一列②	細川 瑠璃	1 年 理一(4)
50723	木 2	ロシア語一列②	浜田 華練	1 年 理一(5)
50965	金 3	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)
50986	金 3	ロシア語一列②	浜田 華練	1 年 文三(4)
50603	水 3	ロシア語特修	鳥山 祐介	2 年 文科 理科

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語			開講区分	A
授業の目標・概要				
スペイン語初修は、共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分け（今年度はCOVID-19禍により、1列／2列をリレー方式で展開した。）、Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。				
成績評価方法				
各担当教員に任されている。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤				
著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会				
出版社 朝日出版社				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50039	月 2	スペイン語一列②	相田 豊	1年 文一二(9)
50062	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	1年 理二三(10)
50111	月 3	スペイン語一列②	竹村 文彦	1年 理二三(7)
50112	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(8)
50166	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(12)
50215	火 1	スペイン語一列②	相田 豊	1年 理一(16)
50340	火 3	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1年 文三(10)
50351	火 3	スペイン語一列②	相田 豊	1年 理二三(11)
50409	火 4	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1年 理二三(9)
50520	水 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(18)
50589	水 3	スペイン語一列②	久住 真由	1年 文三(9)
50624	水 4	スペイン語一列②	上 英明	1年 理一(9)
50626	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	1年 理一(11)
50627	水 4	スペイン語一列②	受田 宏之	1年 理一(17)
50135	木 2	スペイン語一列②	相田 豊	1年 文一二(10)
50727	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1年 理一(10)
50729	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(15)
50768	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 文一二(11)
50782	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(12)
50783	木 3	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 理一(13)
50810	木 4	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 文一二(8)
50819	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(14)
50973	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(7)
50987	金 3	スペイン語一列②	和田 佳浦	1年 文三(8)
51021	金 4	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(12)
51030	金 4	スペイン語一列②	和田 佳浦	1年 文三(7)
50849	水 3	スペイン語特修	石橋 純	2年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語一列②		開講区分	A	
授業の目標・概要		●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版）』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。 ●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。		
成績評価方法 教科書		定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ことばの架け橋（精選版）』 著者（訳者） 生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル		
関連ホームページ		http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50134	月 4	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1 年 文一二(5)
50140	月 4	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1 年 文三(5)
50408	火 4	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1 年 理二三(5)
50894	金 1	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1 年 理一(6)
50639	水 4	韓国朝鮮語特修	河崎 啓剛	2 年 文科 理科

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	A	
授業の目標・概要	●1年生初修クラス I列II列では、Aセメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テキスト分析Ⅰも開講されているので、積極的に受講してください。 ●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。 ●授業計画 1年生初修 ―Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心 ●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。			
	成績評価方法 教科書	平常点とセメスター末の筆記試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50054	月 2	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理一(8)
50164	月 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理二三(6)
50309	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1年 文一二(6)
50715	木 2	イタリア語一列②	山崎 彩	1年 文三(6)
50779	木 3	イタリア語一列②	大崎 さやの	1年 理一(7)
50604	水 3	イタリア語特修	山崎 彩	2年 文科 理科

基礎科目 日本語

日本語			開講区分	A	
授業の目標・概要		[注意事項] ● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。 ● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。 ● 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。 ----- ● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語） 『テーマで考え議論する日本語』 - Active Learning in Academic Japanese for Arts and Sciences - 後半 教養・学術日本語 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。 総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。 『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。 ● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（1）－日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」 「Academic Writing for Science 1 理系のアカデミック・ライティング 1」 「自己・他者・社会を探究するためのナラティブ・ライティング」 「アカデミックライティング（5）－表現学習のためのツール－」 「読解を通じ、日本の歴史を考える（1）」 （「テーマで考え議論する日本語 2：精読、構文・語彙習得・ライティング中心」（基礎科目日本語一列②と連動）） ● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（2）－日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる」 「自己・他者・社会を探究するためのナラティブ・ライティング」 「アカデミックライティング（6）－ツールを用いた構成と形式の実践－」 「近代日本の童話を読む」 「読解を通じ、日本の歴史を考える（2）」 （「テーマで考え議論する日本語 2：精読、構文・語彙習得・ライティング中心」（基礎科目日本語一列②と連動）） （「Academic Writing for Science 2 理系のアカデミック・ライティング2（実践編）」） 「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTask-Web 上のそれぞれの科目のページを参照すること。 全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。 教科書 その他。／Other			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50912	A	金 2	日本語一列②	奥川 育子、藤井 聖子	1 年 文科 理科
51062	A	金 5	日本語一列②	奥川 育子、藤井 聖子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ			開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第1回 月曜3限または火曜2限で開講されている総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は9号館前掲示板を参照）、この授業用に開講されている1種目（開講種目は未定）に登録手続きを行い、担当教員からガイダンスを受ける。 第2回以降 この曜限で開講されている種目での通常授業 *セメスター中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。			
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。 通常授業での説明、科学的理解のための共通授業等によって、セメスター末にレポートを提出する。			
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト （未定） 4 レポート 通常授業での説明、共通授業等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会			
履修上の注意	1 Aセメスターでクラス指定された「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の履修登録を削除した者（2 Sで履修するために）、および1 Aセメスターの「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の単位未取得者が対象となります。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。傷害保険に加入することが望ましい。			
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50042	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文三(4,11,16)理一(10-11,19,23,25-26)理二三(4,8)
50307	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50358	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17) 理二三(1-3,7,12,17,19)
50547	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,15,27,30,32)
50617	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(16,26-28)文三(9) 理一(13,16,24)理二三(16,20-21)
50721	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 理一(1-3,12,31,33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50758	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(9,18,23)文三(6,12) 理一(4-5,18)理二三(13-14,23)
50974	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10) 理一(21,36)理二三(18)
51023	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(21-22)文三(13,19-20) 理一(6,8,22,29,39)理二三(22)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）			開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回 講義、種目選択 第2回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある）（注意事項） ・第1回目の授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習Ⅱの曜限で受講すること。使用教室はITC-LMSや9号館前の掲示板に掲示する。 ・第1回目の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）は必ずしもその日に決定しなくてよいが、判断に困る場合は教員によく相談すること。 ・第2回以降は登録した曜限で授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある。その場合はメールまたはITC-LMSを使って連絡する。			
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。			
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会			
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。			
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
51137	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア1）	実技担当	1年 文科 理科
51141	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア2）	実技担当	1年 文科 理科
51135	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技担当	1年 文科 理科
51139	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技担当	1年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(1-11) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		公法学のテキストを読む 【文一のみ履修可】 「法Ⅰ」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。13 回のうち 2 回は、Carol Lawson 准教授が Principles of Common Law をテーマに、英語で授業を行う。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	法Ⅱ	浅香 吉幹	法・政治	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 【文一のみ履修可】 判例，司法統計等の資料を読みながら，法とは何であるか，法律家は何をしているかを議論する。資料はさまざまな法分野から拾い，素材として批判的分析をするが，広い視点から法的思考を身につけてもらうことを目標とする。13 回の授業のうちの 2 回は，Carol Lawson 准教授が英語による授業を実施する。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	法Ⅱ	増井 良啓	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(21-28) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		実定法学入門 【文一のみ履修可】 この授業では、法学部の専門科目への橋渡しとして、具体的な法的テキスト（判決文など）を素材としつつ、現代日本法（の一端）を読み解きます。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50121	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		比較政治入門 比較政治は、特定の国や事例を見るだけでは分からない論理や特徴を、比較の手法や理論を用いて明らかにする政治学の重心的な分野です。授業では、欧米を含む先進デモクラシー諸国に加えてアジアやアフリカなどの権威主義体制も対象に、選挙や政党政治など従来重要とされてきた分野だけでなく、ポピュリズムや司法・専門家の政治的役割など最近特に注目される新分野も扱います。 授業方法は、オンディマンド動画が中心ですが、質問やディスカッションも取り入れて双方向性を確保します。状況によっては、オンラインか対面で、Q&A の時間を設けます。 授業の理解と定着のためには、予習・復習を行い、質問の機会を積極的に活用してください。比較政治学の共通の基盤となるような内容を扱いながら、優秀なみなさんにふさわしく専門的内容にも踏み込みます。最初は難しく思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、積極的に質問や復習していただければ、十分理解と単位取得が可能な水準に設定されています。 可能であれば、先端的研究を行っている研究者や、政治やその周辺の世界でプレイヤーとして活躍されているゲストをお呼びして、お話を伺える機会も設けたいと思っています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50468	A	政治Ⅱ	木宮 正史	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要		政治学の基礎概念とグローバル秩序変革期の政治学 1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、政治権力(political power)、政治体制 (political regime)、国家(state)、民主主義 (democracy)、政党(political party)、選挙(election)及び投票行動(voting behavior)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、政治に関する種々の現象を分析するのに必要な基礎を身につける。 2 以上の問題の根底にあるのは、民主主義 (democracy) とは何であり、それがどのように機能しているのかいないのかということであるこうした民主主義 (democracy) に関する既存の見方をふまえたうえで、その現代的意味についても考察を深めることにする。 3 ますます緊密度を深める政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。 4 2022 年は、コロナ危機が十分に収束しない中、ロシアのウクライナ侵攻という新たな状況の中で幕を開けた。国連の常任理事国による隣国への侵略行為である。さらに、それと関連を持ちつつ、グローバルには、米中対立が深刻の度合いを深めつつある。それに伴い世界もグローバル化が一方向に進むのではなく、新たな分断が生まれようとしている。こうしたグローバル秩序の変革期に直面に、政治、および政治学の役割を今一度再検討する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	経済Ⅱ	高見 典和	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		科学コミュニティの社会性に注目する現代の科学論を参照しながら、経済学の歴史を議論します。 欧米の一部の研究者は、より洗練された視点で経済学の歴史を研究しています。本講義では、担当講師の訳書や著書を用いて、近年の経済学史研究の一端を紹介したいと思います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50431	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		経済学Ⅱ 価格理論を学びます。価格理論は経済学の基礎となる大変重要な理論体系であることから、本講義では一学期をかけて、価格理論をゼロから網羅的に、考え方を含めて学びます。なお、本講義は「基礎科目」ですので、本講義で初めて経済学を学ばれる方を想定します。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50123	A	社会Ⅱ	井上 彰	社会・社会思想 史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		分析的政治哲学入門 本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、19世紀に生まれ、20世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、20世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50469	A	数学I	長谷川 立	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、順序は異なることがある。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	数学Ⅱ	小木曾 啓示	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科学向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50471	A	数学Ⅱ	足助 太郎	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科学向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。				

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50124	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		スピノザと哲学 17 世紀オランダの哲学者スピノザの思想を紹介していく。合わせて、17 世紀以前、17 世紀以後の哲学についても適宜紹介していく。 スピノザの思想はその内容を理解したとしても、そこから、自分の中で十分に消化して自らのものとするところに至るまでにはかなり時間がかかる。 講義ではじっくりと一つの哲学に取り組むための機会を提供したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50432	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の原典を読む 西洋哲学の基礎を、その原典に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アキナスの『神学大全』を中心に、基本的なテキストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテキストも読解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50125	A	倫理Ⅱ	小松 美彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		死をめぐる生命倫理 本シラバスを入力している 2022 年 7 月 30 日現在、日本は新型コロナウイルス感染症の猛威の渦中にある。既に 2 年半に及び行方不明なコロナ禍にあって、最も軽視されているのは存外にも人々の「死」であるように思われる。日本でも既に 3 万 2 千人以上の者が死亡しており、そこには 3 万 2 千以上の悲しみがあるにもかかわらずである。しかし、顧みれば、こうした死の軽視は今に始まったことではなく、脳死や安楽死・尊厳死の推進政策の延長線上での事態ではあるまいか。 そこで本講義では、現況の基点をなす脳死と安楽死・尊厳死の問題を主題として、死について倫理的かつ多角的に考える。そして講義の終盤では、レベルを一段上げて、M.フーコーや G.アガンベンが論じた「生権力」と「死権力」の問題を扱い、さらに「人間の尊厳」について考察する。 脳死と安楽死・尊厳死はもとより、死そのものに関して、自分の倫理的思考を錬磨することを目指す。そして、それを通じて、そもそも「倫理」とは何かを省みることを大目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50433	A	歴史Ⅰ	杉山 清彦	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		歴史学の思考法（2） 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部は歴史学教員は、「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（1）」（S セメスター開講）と「歴史Ⅰ：歴史学の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも 5 名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50434	A	歴史Ⅱ	外村 大	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		東アジアの中の戦後日本の歴史 20 世紀半ばから 20 世紀末までの日本社会の歴史について、東アジアとの関係や、国内のマイノリティに注目しながら論じる。そのことによって、現代日本の直面している課題が過去とどのようにつながっているかを確認していく。また、同時代の史料を読みながら、歴史学の手法の基礎も学んでいく。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50435	A	ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		中国古典文学略史 中国古典文学の歴史を概観する。 先秦時代から唐にかけての文学の特徴と変遷を理解し、中国文学の普遍的性質、基本的知識（作品・作者等）を身につける。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50436	A	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		日本近代文学研究の緒 日本の近代～現代に書かれた複数の小説を取上げ、近代文学研究のための基礎的な術語や視点、概念を学びつつ、文学作品の分析や研究方法について概説する。とりわけ、前期課程の科目として、高校までの国語教育とは異なる専門的な文学研究の方法・考え方を身につけることを重視する。そのうえで、講義で解説する方法や理論等の基礎を理解し、それを手がかりにして自分で作品を学術的に論じる力を身につけてほしい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50126	A	ことばと文学Ⅳ	山崎 彩	フランス語・イタリア語	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語文学入門 イタリア人なら誰もが知っている古典的文学作品（物語作品）を取り上げ、その全部あるいは一部を日本語翻訳で実際に読んでみる授業。この授業の第一の目標はイタリア語で育まれた豊穡な想像力の一端に触れること。第二の目標は、イタリア語文学の歴史について基本的な知識を得ること。第三の目標は、歴史的な背景を含めて文学作品をよく考察し、自らの言葉で語れる（書ける）ようになることである。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50127	A	心理Ⅱ	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能や脳信号解読を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50472	A	心理II	今福 理博	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心理学は人を含む動物の心と行動を科学的に研究する学問である。 本講義では、心理学の成り立ちや人の心の基本的な仕組み及び働きについて、心理学の知識を広く概観することで理解することを目的とする。 とりわけ、遺伝と環境の相互作用の中で人の心がいつ、どのように発達するのかという視点から、知覚、認知、感情、言語、パーソナリティなどのテーマについて詳述する。				

基礎実験

基礎実験			開講区分	A 1 / A 2
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。			
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTASもしくはITC-LMSに掲示するので、前もって確認しておくこと。			
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者） 基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社 学術図書出版社、 東京化学同人			
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止。			
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html ※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50080	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50344	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50594	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(6,12,20-22,31,34)
50780	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
50999	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37-38)
51089	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1 年 理一
51521	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1 年 理一
51522	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1 年 理一
51523	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1 年 理一
60002	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60029	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60076	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(6,12,20-22,31,34)
60082	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60087	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37-38)
60091	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1 年 理一
60239	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1 年 理一
60240	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1 年 理一
60241	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1 年 理一
50081	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50345	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50595	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(6,12,20-22,31,34)
50781	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51000	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37-38)
51090	A 1	集中	基礎実験 I (化学) α	1 年 理一
51524	A 1	集中	基礎実験 I (化学) α	1 年 理一

基礎実験

51525	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(化学) α	1 年 理一
60003	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60030	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60077	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(6,12,20-22,31,34)
60083	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60088	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37-38)
60092	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(化学) α	1 年 理一
60242	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(化学) α	1 年 理一
60243	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(化学) α	1 年 理一
50109	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-5,9,11) 奇
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇
50600	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇
50790	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(6,8,18-20) 奇
51010	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-5,9,11) 偶
60031	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶
60084	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(6,8,18-20) 偶
60089	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶
50110	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-5,9,11) 偶
50350	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶
50601	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶
50791	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(6,8,18-20) 偶
51011	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-5,9,11) 奇
60032	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇
60079	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇
60085	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(6,8,18-20) 奇
60090	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇

微分積分学②

微分積分学②		開講区分	A
授業の目標・概要		代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライプニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。 微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームで項目1、2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 その他。／Other	
成績評価方法		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html	
教科書			
関連ホームページ			
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50063	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(14-16)
50064	月 2	山本 昌宏	1 年 理二三(17-20)
50065	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(21-24)
50159	月 4	白石 潤一	1 年 理一(20-23)
50160	月 4	長井 秀友	1 年 理一(24-27)
50161	月 4	大島 芳樹	1 年 理一(28-31)
50162	月 4	坂井 秀隆	1 年 理一(32-35)
50163	月 4	佐々田 槿子	1 年 理一(36-39)
50400	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(1,17-19)
50401	火 4	林 修平	1 年 理一(2,4-5,8)
50402	火 4	桐木 紳	1 年 理一(3,11-13)
50403	火 4	大場 清	1 年 理一(6-7,9-10)
50404	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(14-16)
50597	水 3	会田 茂樹	1 年 理二三(1-7)
50598	水 3	辻 雄	1 年 理二三(8-10)
50599	水 3	高木 俊輔	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②		開講区分	A
授業の目標・概要		線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。 S2タームでUTAS シラバス「授業計画」の項目1、2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。	
成績評価方法 教科書 関連ホームページ		主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 その他。／Other https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50462	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(1-7)
50463	水 1	小林 正典	1 年 理二三(8-10)
50464	水 1	植野 義明	1 年 理二三(11-13)
50465	水 1	河澄 響矢	1 年 理二三(14-16)
50466	水 1	村上 順	1 年 理二三(17-20)
50467	水 1	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
50784	木 3	下川 航也	1 年 理一(20-23)
50785	木 3	ケリー シェーン	1 年 理一(24-27)
50786	木 3	梶原 健	1 年 理一(28-31)
50787	木 3	山崎 満	1 年 理一(32-35)
50788	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(36-39)
50991	金 3	寺田 至	1 年 理一(1,17-19)
50992	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(2,4-5,8)
50993	金 3	関口 英子	1 年 理一(3,11-13)
50994	金 3	木田 良才	1 年 理一(6-7,9-10)
50995	金 3	志甫 淳	1 年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習					
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。				
成績評価方法	通常は定期試験を行わず、平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ、授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする。出席点が重視されるため、欠席を重ねると単位を出せなくなることがある。				
教科書	その他。／Other				
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/				
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50114	A	月 3	微分積分学演習	逆井 卓也	1 年 理二三(14-16)
50115	A	月 3	線型代数学演習	逆井 卓也	1 年 理二三(14-16)
50116	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
50117	A	月 3	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
50118	A	月 3	微分積分学演習	畑 宏明	1 年 理二三(21-24)
50119	A	月 3	線型代数学演習	松井 千尋	1 年 理二三(21-24)
50417	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(1,17-19)
50418	A	火 5	線型代数学演習	寺田 至	1 年 理一(1,17-19)
50419	A	火 5	微分積分学演習	林 修平	1 年 理一(2,4-5,8)
50420	A	火 5	線型代数学演習	大島 芳樹	1 年 理一(2,4-5,8)
50421	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(3,11-13)
50422	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(3,11-13)
50423	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(6-7,9-10)
50424	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(6-7,9-10)
50425	A	火 5	微分積分学演習	伊山 修	1 年 理一(14-16)
50426	A	火 5	線型代数学演習	志甫 淳	1 年 理一(14-16)
50631	A	水 4	微分積分学演習	鮑 園園	1 年 理二三(1-7)
50632	A	水 4	線型代数学演習	鮑 園園	1 年 理二三(1-7)
50633	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(8-10)
50634	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(8-10)
50635	A	水 4	微分積分学演習	高木 俊輔	1 年 理二三(11-13)
50636	A	水 4	線型代数学演習	伊山 修	1 年 理二三(11-13)
50820	A	木 4	微分積分学演習	松井 千尋	1 年 理一(20-23)
50821	A	木 4	線型代数学演習	権業 善範	1 年 理一(20-23)
50822	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(24-27)
50823	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(24-27)
50824	A	木 4	微分積分学演習	大島 芳樹	1 年 理一(28-31)
50825	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(28-31)
50826	A	木 4	微分積分学演習	坂井 秀隆	1 年 理一(32-35)
50827	A	木 4	線型代数学演習	山崎 満	1 年 理一(32-35)
50828	A	木 4	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(36-39)
50829	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）					
授業の目標・概要		科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる。本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。			
成績評価方法		定期試験による。			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_sl.html			
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50177	A	月 5	数理科学基礎（補修）	山本 昌宏	1 年 理科 2 年 理科
50650	A	水 5	数理科学基礎（補修）	WILLOX RALPH	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学 A

電磁気学 A		開講区分	A
授業の目標・概要		電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが、 実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 5.電磁誘導とマクスウェル方程式 ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 ＊6.物質中の電磁場 ＊考え方：分極電荷、磁化電流 ＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） ＊異なった物質の間の境界条件 ＊物質中の電磁場エネルギー	
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること	
教科書		その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50516	水 2	多田 司	1 年 理一(1-2,4-6)
50518	水 2	森松 治	1 年 理一(3,30-31,35)
50523	水 2	下村 裕	1 年 理一(32-34)
50524	水 2	大井 万紀人	1 年 理一(37-39)
50525	水 2	加藤 雄介	1 年 理二三(1-3,7-8,11)
50527	水 2	藤山 茂樹	1 年 理二三(19-20,22,24)
50725	木 2	下村 裕	1 年 理一(7-9)
50737	木 2	岡本 徹	1 年 理一(19,21-22)
50738	木 2	竹内 誠	1 年 理一(23-24,26)
50740	木 2	深津 晋	1 年 理一(27-29)
50743	木 2	齋藤 晴雄	1 年 理二三(4,12-14)
50744	木 2	堀田 知佐	1 年 理二三(16-18,23)
51034	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(10-12)
51036	金 4	年吉 洋	1 年 理一(13-15)
51037	金 4	金澤 直也	1 年 理一(16-18)
51039	金 4	水野 英如	1 年 理一(20,25,36)
51048	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(5-6,9)

51049	金 4	福島 孝治	1 年 理二三(10,15,21)
-------	-----	-------	-------------------

電磁気学B

電磁気学 B		開講区分	A
授業の目標・概要		入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5.時間的に変動する電磁場 ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6.変位電流とマクスウェル方程式 ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習	
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること	
教科書		その他。／Other	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50517	水 2	菊川 芳夫	1 年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)
50726	木 2	菊川 芳夫	1 年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,12-14,16-18,23)
51035	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)

構造化学

構造化学		開講区分	A
授業の目標・概要		物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである． 1. 量子論の必要性 ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子) ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波) 2. 量子論の基礎 ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点) ・1次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色) ・2原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造) 3. 原子の構造と性質 ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道) ・Pauli の排他原理(電子スピン) ・多電子原子(元素の周期律と構成原理) 4. 化学結合と分子 ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合) ・2原子分子(分子の性質と電子構造) ※各授業の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other	
成績評価方法 教科書			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50052	月 2	山口 和也	1 年 理一(5,31,33-34)
50056	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50061	月 2	十代 健	1 年 理二三(5-6,9,11)
50106	月 3	長谷川 宗良	1 年 理一(17,29-30,35)
50113	月 3	安池 智一	1 年 理二三(10,12-13)
50209	火 1	岩崎 純史	1 年 理一(7,12,27)
50217	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(7,15,17,20)
50342	火 3	齊藤 圭亮	1 年 理一(8,11,13)
50347	火 3	青木 優	1 年 理二三(4,18-19,23)
50348	火 3	横川 大輔	1 年 理二三(8,14,22)
50592	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,16,18-19)
50596	水 3	澁田 靖	1 年 理一(24,28,36,38)
50625	水 4	中島 正和	1 年 理一(10,14-15)
50628	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(23,25-26)
50630	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(32,37,39)
50778	木 3	奥野 将成	1 年 理一(1-3,6,9)
50789	木 3	横川 大輔	1 年 理二三(1-3,16,21,24)
50877	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51088	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学Ⅱ

生命科学Ⅱ		開講区分	A
授業の目標・概要		細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性	
成績評価方法		【担当教員入力】	
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第5版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN 978-4-7581-2102-6	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50165	月 4	佐藤 健、北西 卓磨	1 年 理二三(10,16,20-21)
50167	月 4	渡邊 雄一郎、加納 純子	1 年 理二三(14,17-18,22)
50897	金 1	道上 達男、末次 憲之	1 年 理二三(7,11,15,24)
50904	金 1	大杉 美穂、阿部 光知	1 年 理二三(9,12-13,23)
51009	金 3	瀬尾 秀宗	1 年 理二三(1-6,8,19)